

## 1 市の概要

人口	518,470人
保護率	1.6 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	12.3
プラン作成件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	7.6
就労支援対象者数人口10万人当たり(件)	一月当たり	2.2
就労・増収率(%)		70.1

## 3 実施方法について

実施方法	委託(単年契約, プロポーザル方式)
事業費	13,870千円(平成30年度)
理由(委託)	○生活困窮世帯の中学生を対象とした学習支援に加え, 参加者の約2割は,不登校や発達障害等,学びに困難を抱えていることから, これらの子どもたちにも適切に対応できるよう, 専門的なノウハウを持った事業者による業務委託を行っている。
事業概要	○生活保護世帯を含む生活困窮世帯の中学生を対象に以下の事業を実施 (1) 学習支援教室 ・市内に設置した地域行政機関3会場において,週2回(夏休み等は週3回)開催(1日3時間程度),各教室定員30人。 ・教職経験者やボランティアの支援員による30分程度のマンツーマン指導など,個々の学習能力に応じた指導を行う。 (2) 通信添削 ・学習支援教室に参加できない生徒に対しては,毎週問題用紙を送付し,答案にコメントを入れ添削指導を行う。定員40人。 (3) 進路相談 ・学習支援教室及び通信添削参加者には,保護者会を開催し進路先に関する情報提供や,高校進学への個別相談を行う。
その他特記事項	○生活保護世帯には, 福祉事務所のケースワーカーが案内を行い, 生活困窮世帯には, 就学援助決定通知に募集チラシを同封して自立相談支援機関で利用申請受付を行っている。

## 4 事業実績（H30年度）

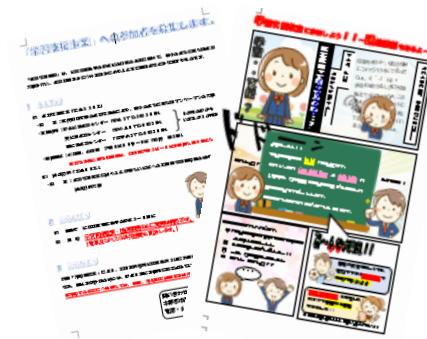
	実利用者数
生活困窮	121人(全て中学生)
生活保護	30人(全て中学生)

※年度末まで参加した中学3年生全員が高校に進学した。  
 ※通信添削の実績：生活困窮世帯32件、生活保護世帯11件

## 5 事業実施のポイント ～学習意欲・関心を引き出す仕組みづくり～

### Point

- 学習に対する意欲・関心を持ってもらえるよう, 生徒に親しみやすいマンガをチラシに取り入れ, 配布・周知を行っている。
- 学習支援員育成のためのスタッフ研修会や子どもが楽しめるクリスマス会等のイベントなどを実施している。



## 6 取り組んでよかったこと

- 生活困窮世帯については, 自立相談支援機関が利用申請受付を行うことにより, 子どもの学習支援のみならず世帯全体の支援に寄与している。
- 生徒及び保護者へのアンケート調査においても, 学校の成績の向上や, 勉強する習慣の定着, 親身な対応に対する感謝などが多く寄せられ, 事業の利用に関して約9割が「満足している」との回答を得た。